

関西大学法学論集 第五十四卷 総目次

特別寄稿

カナダ税法概説……………

クリス・スプリサーク……………五  
宮本十至子(訳)……………(一) (九三七)

号 頁 通巻頁

論 説

ドイツ法における民法上の組合の権利能力(二)

福瀧博之……………(一) (一)

——BGHの判決とKarsten Schmidtの見解——

近代日本の国際法受容をめぐる一考察(一)

坂元茂樹……………(五〇) (五〇)

——日韓の比較を交えて——

違法性の錯誤と負担の分配(二・完)

一原亜貴子……………(八二) (八二)

債務者には主張し得ないが

第三者には主張することができず債権譲渡

栗田 隆……………(一) (一五三)

——譲渡禁止特約の効力の相対的制限は可能か?——

ドイツ法における民法上の組合の権利能力(二・完)……………福瀧博之……………(二二)(一七三)  
——BGHの判決とKarsten Schmidtの見解——

二〇〇三年衆院選における候補者ウェブサイトにへのアクセス状況……………岡本哲和……………(九二)(二四三)  
石橋章市……………(九二)(二四三)  
脇坂徹……………(九二)(二四三)

宗教が有する公共性の二側面……………角田猛之……………(二二〇)(二七二)  
——アメリカ市民宗教、神権天皇制、オウム真理教を手がかりにして——

ヘイト・スピーチの害悪と規制の可能性(二・完)……………奈須祐治……………(二六一)(三二三)  
——アメリカの諸学説の検討——

二〇〇一—二〇〇二年……………土倉莞爾……………(一)(三八九)  
フランス市町村選挙・大統領選挙・総選挙……………(一)(三八九)

アメリカの民主主義と市民的自由……………大津留北川智恵子……………(五九)(四四七)

他人のために金銭を保管すべき者が自己名義で……………伊室亜希子……………(八六)(四七四)  
預金をした場合における信託成立の可能性……………(八六)(四七四)

ドイツ法における人的ゲゼルシャフトの包括的権利能力……………福瀧博之……………(一)(六一七)  
ゲゼルシャフト法における諸概念の錯綜——

証拠開示理論と二〇〇四年刑事訴訟法改正……………松代剛枝……………(六〇)(六七六)  
——比較法的検討——

企業・組織犯罪における合議決定と帰属関係(一)……………前嶋匠……………(九〇)(七〇六)  
——因果関係と共同正犯・共同教唆——

政策型住民投票の投票率……………脇坂徹……………(二四五)(七六一)  
——首長提案による実施が低投票率をもたらすのか——

使用貸借訴権と窃盗訴権 (一)

岡 徹…………… (一三) (九四九)

戦後日本の民主主義思想……………

寺島 俊穂…………… (三一) (九六七)

——市民政治理論の形成——

管理費を原資とするマンシヨン管理会社名義の  
銀行預金債権の帰属と信託の成立……………

伊室 亜希子…………… (七九) (二〇一五)

——

企業・組織犯罪における合議決定と帰属関係 (二・完)

前嶋 匠…………… (二一四) (二〇五〇)

——因果関係と共同正犯・共同教唆——

実質的意義の商法と企業法・序説……………

福瀧 博之…………… (一) (二一三一)

——Bydinskiの企業法論——

地方議会議員の免責と非免責……………

吉田 栄司…………… (六三) (二一九三)

——ライアピリティーとアカウンタピリティー、レスポンシビリティーの区別——

プライバシー権の概念化へのアプローチに関する一考察……………

小林 直三…………… (二〇六) (二二三六)

海洋環境保護を理由とする無害通航の規制……………

長岡 憲二…………… (二六五) (二二九五)

——沿岸国による海洋環境保護措置の拡大を中心に——

### 研究ノート

「イラク戦争」とアメリカ……………

真鍋 俊二…………… (二一八) (一一八)

——若干の視点と問題提起——

「小泉政治」に関する一考察……………

真鍋 俊二…………… (二二五) (三六七)

——首相公選制の問題との関連で——

判例研究

配当異議の訴えにおいて競売申立書の被担保債権の記載と異なる真実の  
 権利関係に即した配当表への変更を求めるための要件……………吉田直弘……三 (一一二) (五〇〇)  
 (最高裁平成一五年七月三日第一小法廷判決  
 平成十四年(受)第一八七三号・配当異議事件)  
 オウブンシヤホールディング事件と法人税法二二条二項……………藤原拓哉……六 (二〇八) (一三三八)

翻訳

ベッカー『古典的ローマ法における訴訟的消耗』(一)……………岡徹(訳)……四 (二八五) (八〇一)  
 エリザベス・R・ガーバー、アーサー・ルピア、マシュー・D・マッカピンズ  
 いつ政府は有権者によるイニシアテイヴの影響力を制限するか?……………石橋章市朗  
 上田昌史(訳)……四 (二九七) (八一三)  
 実施と執行の政治……………脇坂徹

資料

法科大学院設立後の法学部……………真鍋俊二……三 (二八三) (五七一)  
 ——中長期的展望における若干の論点について——  
 英国国際私法判例ノート(H16—1)……………本浪章市……三 (二九八) (五八六)  
 ローカル・ガバナンスに関する一考察……………真鍋俊二……五 (二七四) (一一一〇)  
 ——ミーティング・プロセスにおける若干の問題点について——

紹介

キヤス・R・サンズテイン著『なぜ社会は反対意見を必要とするのか』(一)  
(Cass R. Sunstein, *Why Societies Need Dissent*, HUP, Cambridge, 2003)

小孝 忠林 延直 三夫  
大須 林直 治三  
辻雄 一祐 郎平  
……………六 (二四二) (二二七二)

書評

中山洋平著

『戦後フランス政治の実験 第四共和制と「組織政党」』  
一九四四—一九五二年……………土倉莞爾……………四 (二三五) (八五二)